

(1)現基本計画の施策の主要成果

個別目標 I-4 生涯を通じてこころ豊かに過ごせるまち

■施策の方向__生涯学習活動の推進

□施策__主体的な学習活動への支援充実

- 図書館の改築(清水、赤塚)
- 「板橋区子ども読書活動推進計画」の策定
- 生涯学習センター(仮称)の設置検討
(青少年センター(仮称)の機能として、中高生への学習支援事業などを試行的に開始)

□施策__多様な世代が学びあう学習内容の充実

- グリーンカレッジ講座の充実
- 生きがい創造支援事業の充実
- 生涯学習情報の提供
- 大学公開講座等各種講座開催

(2)社会環境の変化、国・都の動向等

- 生涯学習講座数や参加者数は減少傾向を示していたが、平成24年度は増加している。【図表1】
- 平成22年度から27年度までを計画期間とする「板橋区子ども読書活動推進計画」において、地域における子どもの読書活動が推進されている。
- インターネットなどを活用した図書館システムの導入や電子書籍が普及するなどICT化が進展
- 関係団体数も堅調に推移しており、施設利用も堅調であるなど、生涯学習活動への参加は概ね堅調に推移している。また、図書館の貸出し冊数も堅調に推移している。【図表2】
- 社会教育会館の機能を拡充し、あらゆる世代の区民にとって利用しやすく、充実した活動ができる学習拠点となる施設の整備をめざし、若い世代からシニア世代までの社会参加を促進しながら、社会参加や交流機会の充実などをとおして地域ぐるみで青少年の育成を推進することができる施設の設置を検討

【国】

- 今後の社会教育行政等の推進のあり方について、学校教育と連携した社会教育行政の推進体制の構築が必要とされている【図表4-1、4-2】

(3)区民の意識意向等

【区民意識意向調査】

- 生涯学習
 - ・相対満足度10.50% (全項目平均15.75%)
 - ・改善度0.04 (全項目平均0.04)
 - ・重点分野
生涯学習・社会教育(17位) 10.3%
生涯スポーツ(20位) 6.4%

生涯学習及びスポーツに取り組みや、すいと感じる区民の割合は、平成25年度調査ではいずれも前回調査を上回っている。【図表3】

(4)論点(「あるべき姿」と今後の「施策のあり方」)

あるべき姿

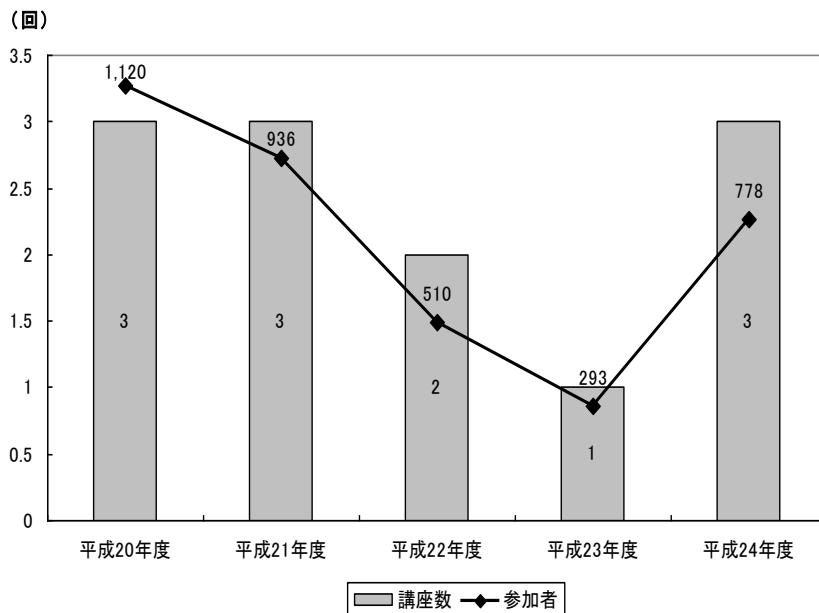
社会のあらゆる場で世代を越えて住民同士が学びあい、教えあう相互学習等が活発に行われ、人と人をつなぐコミュニティが形成されるためには

↓

施策のあり方

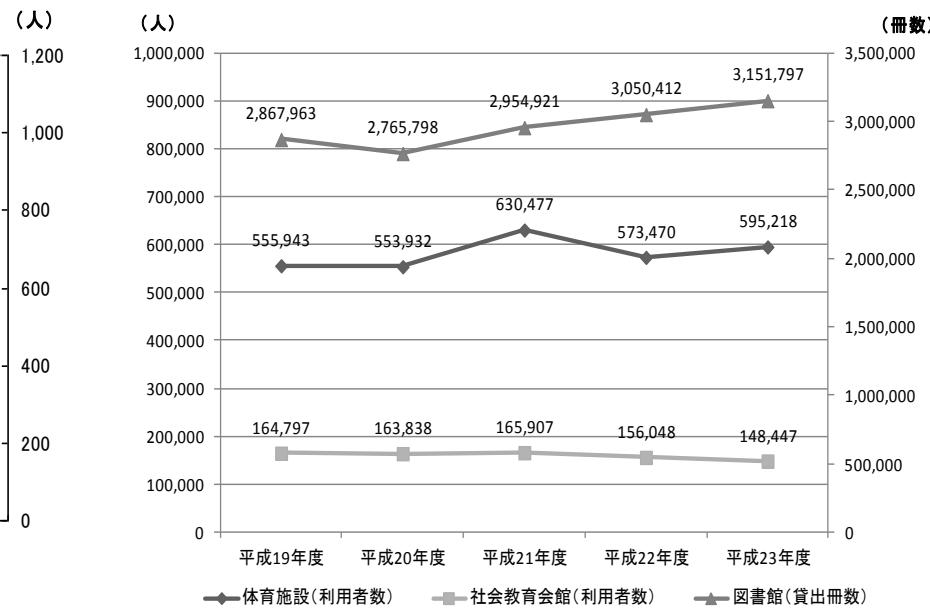
- 活力あるコミュニティの形成に向けた学習活動や区民同士のネットワーク構築のための体制づくりを推進するには
- 現代的・社会的課題に対応した学習機会及びライフステージに応じた学習機会の充実を図るには
- 生涯学習・社会教育及び学校教育との連携の推進を支える環境を整備するには
- 社会生活を円滑に営む上で困難を有する者、特に若者などへの社会参加を支援する学習機会の充実を図るには
- 学習の質の保障・向上と区民による学習成果の評価・活用の推進を図るには

【図表1 生涯学習講座開催数と参加者数】



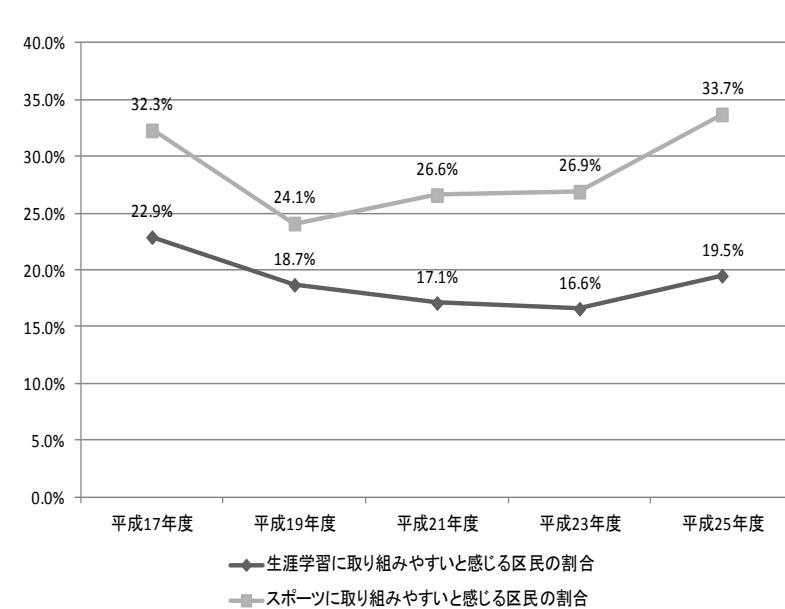
出所)板橋区「事務実績調査」より作成

【図表2 生涯学習関連施設の利用者数】



体育施設は、室内競技場、武道場、プール、トレーニングルームの個人利用者数の合計。ただし、小豆沢体育館、屋外施設等のプール利用者数は含まず。また、高島平温水プールは平成22年4月から平成23年8月27日まで改修のため休館となっており、集計に含まず
出所)板橋区「平成24年版板橋区の統計」より作成

【図表3 生涯学習及びスポーツに対する区民の意識の変化】



出所)板橋区「区民意識意向調査結果」より作成

【図表4-1 今後の社会教育行政等の推進の在り方について】

1. 社会の変化の中で求められるもの

- 個人の自立(人づくり)に向けた学習
 - 学習の機会が得られ、学習を継続でき、学習成果を社会生活や職業生活に生かすことができる生涯学習社会の実現
- 絆づくり(社会関係資本の構築)・地域づくりに向けた体制づくり
 - 人材の育成・確保(コーディネーター・ファシリテーター)、集う場の確保、ネットワークの構築

2. 社会教育の役割

- 地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習等を通じて、人々の教養の向上、健康の増進等を図り、人と人との絆を強くする
- 地域住民の自立に向けた意識(自助)を高め、協働による地域づくりの実践(「互助」「共助」)に結びつけていく
- 社会教育行政は、こうした社会教育が活発に行われるよう環境を醸成

○近年の社会教育の成果

- 学校教育との連携・協働による地域コミュニティの形成
- 家庭教育における学習機会の提供と地域人材の育成
- 生涯学習社会の構築に向けた寄与(多様な学習機会の提供等)

○社会教育行政が抱える課題

- 地域コミュニティの変質への対応(コミュニティ再生への対応が不十分)
- 多様な主体による社会教育事業の展開への対応(様々な課題への対応が不十分)
- 社会教育の専門的職員の役割の変化への対応(社会教育主事減少による十分な活動が困難)

3. 今後の社会教育行政の取組の方向性～「社会教育行政の再構築」～

- 首長部局・大学等・民間団体・企業等との連携・協働の推進(ネットワーク型行政の推進 等)
- 地域社会を担う人材の育成(地域人材の育成・確保、専門的職員の資質向上 等)

〈国の役割〉

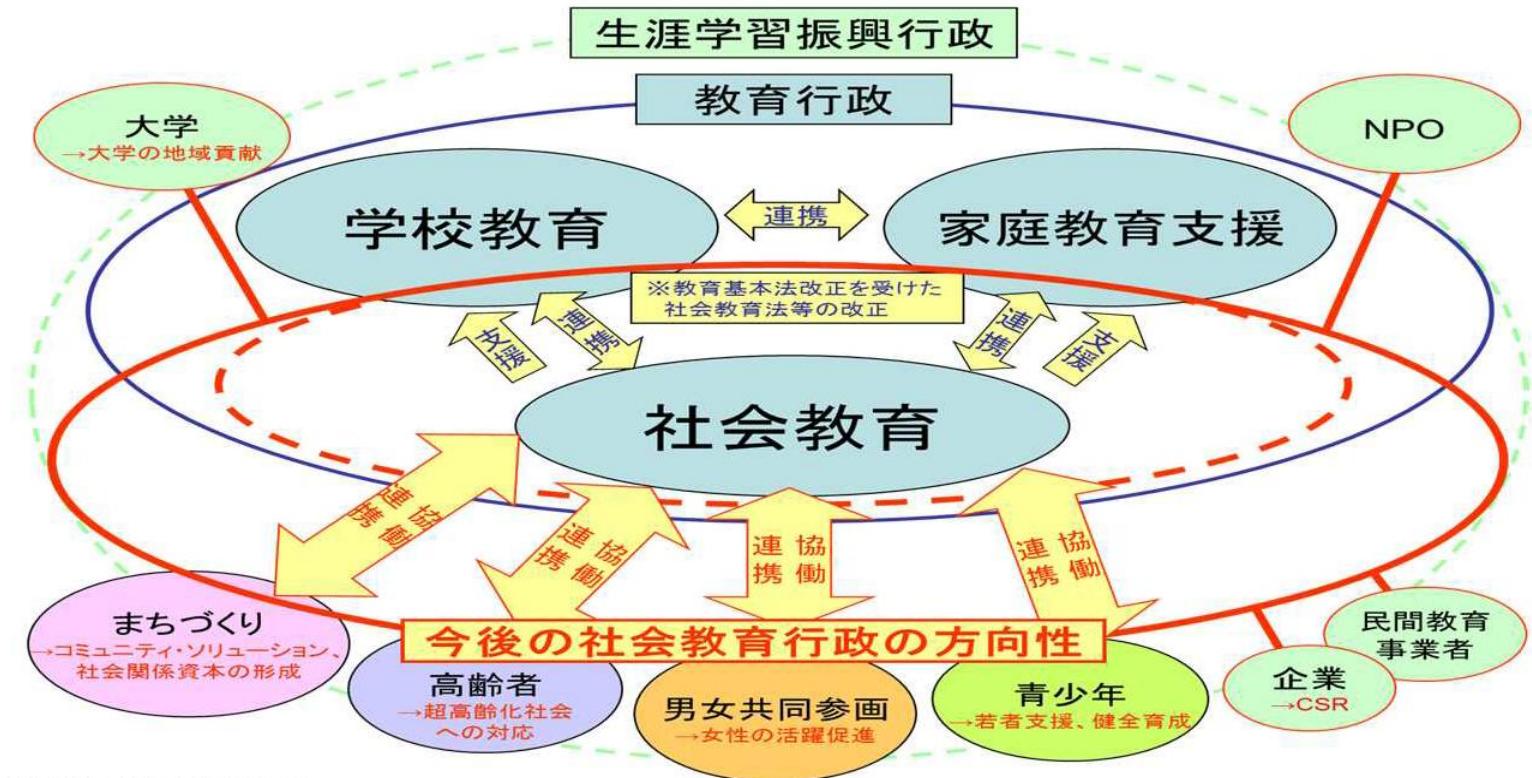
- 先進的取組の支援・制度改善、社会教育主事の養成・配置や資格の在り方の総合的検討 等

4. 生涯学習振興行政の調和・統合機能の強化

- 学習活動の全体を俯瞰し、調整して、生涯学習振興の基本的方針等を提示
- 学習情報の提供や相談体制の整備、啓発活動、学習の成果を生かす場や評価のための仕組みの構築

〈国の役割〉

- 今後の生涯学習振興の基本的な方針等を示し普及、実態把握・調査研究、学習の質の保証、啓発、学習成果の評価・活用の推進 等)



【図表4-2今後の生涯学習・社会教育の振興の具体的方策について】

1. 絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習活動や体制づくりの推進

(1) 社会全体で子どもたちの活動を支援する取組の推進

- ◆学校支援地域本部等、学校と地域が連携・協働する体制を全国全ての小・中学校区に構築

(2) 学びの場を核にした地域コミュニティの形成の推進

- ◆公民館等社会教育施設を核とした地域コミュニティの形成の取組の支援
- ◆学校と社会教育施設の複合化

(3) 地域社会と共生する大学等の高等教育機関づくりの推進

- ◆大学等の生涯学習機能強化に向けた取組の推進

(4) 豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実

- ◆「家庭教育支援チーム」型の支援 ◆親の育ちを応援する学びの機会の充実

2. 現代的・社会的課題に対応した学習機会及びライフステージに応じた学習機会の充実

(1) 現代的・社会的課題に対応した学習の推進

- ◆男女共同参画、人権、環境保全、消費者問題、地域防災・安全、ESD等に関する学習の推進
- ◆公民館等の先進的な取組の支援

(2) ライフステージに応じた学習機会の充実

- ◆専修学校等における単位制・通信制の導入など社会人等が学びやすい学習・評価システムの構築
- ◆職業実践的な教育に特化した新たな枠組みの先導的試行など段階的実施
- ◆自立した高齢期を送るための学習機会の充実

(3) 学習機会の確保のための環境整備

- ◆ICTを活用した学習(eラーニング)の推進 ◆放送大学における科目・公開講演会の充実

3. 社会生活を円滑に営む上で困難を有する者への学習機会の充実

(1) 子ども・若者への学習支援

- ◆高等学校卒業程度認定試験等を含む学び直しの機会の提供
- ◆公民館・青少年教育施設等で子ども・若者の居場所を提供し、支援する体制の構築

(2) 成人への学習支援

- ◆アウトリーチを重視した家庭教育支援の推進
- ◆早期離職者等への職業教育・職業訓練の推進

4. 学習の質保証・向上と学習成果の評価・活用の推進

(1) 多様な主体が提供する学習機会の質の保証・向上の推進

- ◆民間教育事業者における評価・情報公開の仕組みの構築の推進
- ◆文科省認定社会通信教育制度の見直し ◆専修学校の教育の質の保証

(2) 学習活動の成果の評価・活用の推進

- ◆学習成果を評価する手法の検討 ◆検定試験の質の向上
- ◆人材認証制度等の仕組みや認証の共通枠組みの構築の検討

(3) キャリア形成のための新たな学習・評価システムの構築に向けた基盤の整備

- ◆EU、豪州、韓国等の資格枠組みの動向等を踏まえ、我が国の実情にあったシステムの在り方の調査研究
- ◆産学官連携のコンソーシアムにおける能力評価基準や教育プログラムの開発の推進

(4) ICTを活用した学習の質の保証・向上、学習成果の評価・活用の推進

- ◆デジタルコンテンツの質保証・向上の仕組み構築
- ◆eポートフォリオ・eパスポートの取組支援

5. 生涯学習・社会教育の推進を支える基盤の整備

(1) 様々な主体との連携・協働を進めるための社会教育行政の体制の確立

- ◆地方公共団体が、様々な主体との連携・協働を円滑に構築できるようにするためのモデル事業や環境整備の実施

(2) 地域の学びを支える人材の育成・活用の推進

- ◆社会教育主事等の役割や配置の見直し、資質・能力向上の検討
- ◆地域人材を含む社会教育に関わる人材全体の在り方の検討

(3) 社会教育施設の運営の質の向上

- ◆自己評価・情報公開の推進 ◆ICTの利活用の推進

(4) 生涯学習・社会教育分野における調査・研究の推進

- ◆「学び」に関する意識調査の実施 ◆国際成人力調査「PIAAC」による国際比較の結果の分析
- ◆成果目標・成果指標等の研究の推進

(5) 生涯学習・社会教育の活動を支えるための民間資金等の有効活用

- ◆生涯学習・社会教育団体への寄附税制の周知等

出所)「第6期中央教育審議会生涯学習分科会
における議論の整理(平成25年1月)